

# 福井工業大学 後援会会報

## Fukui University of Technology 2011

平成23年4月15日発行

福井工業大学  
後援会

# 42

〒910-8505 福井市学園3丁目6番1号  
電話(0776)29-7864  
FAX(0776)29-7891  
E-mail syomu-u@fukui-ut.ac.jp

- 2 平成22年度 学位記授与式
- 4 平成23年度 入学式
- 6 【特集】新しい大学を目指して
  - 1. 産業ビジネス学科新設
  - 2. キャリアセンター新設
  - 3. ラーニングコモンズ新設
- 10 研究室を訪ねて
- 12 本学に赴任して  
新任若手教員
- 14 社会に貢献
- 16 がんばってます  
平成22年度理事長賞受賞者  
平成22年度学長賞受賞者  
創成科学賞  
特別奨励金
- 18 クラブ活動  
硬式野球部
- 19 各クラブの主要戦績  
平成22年度 体育部会
- 20 平成23年度 定期総会・地区懇談会のご案内  
申し込みはお早めに【お申込方法は22ページ】



平成三十二年

# 学位記授与式

三月十五日午前十時から、平成三十二年福井工業大学の学位記授与式が、早春の晴れやかな雰囲気の中、福井県知事西川一誠様はじめ多数の来賓を迎えて、金井講堂において行われた。

城野学長から、大学院博士後期課程一人、大学院修士課程二十七人、工学部三六八人に学位記が授与された。

つづいて、城野政弘学長、金井兼理事長から次のようなお祝いとはなむけの言葉がのべられた。また来賓を代表して西川一誠福井県知事から祝辞がのべられた。



祝辞を述べる西川福井県知事



学長  
城野 政弘

本日、ここに福井工業大学ならびに福井工業大学大学院の平成三十二年学位記授与式を挙げるに当たり、年度末の大変お忙しい中、ご臨席いただきましてご来賓各位に厚く御礼申し上げます。

先ず始めに、ただいま福井工業大学大学院から博士（工学）の学位を授与された高橋 梢さん、同じく修士（工学）の学位を授与された二七名の方々、ならびに福井工業大学から学士（工学）の学位を授与された三六八名の方々にお喜びを申し上げます。また、この日まで長きにわたって皆さんの勉学と研究を支えてこられました、ご家族やご関係の皆様にも感謝いたしますとともに、心からお祝いを申し上げます。

皆さんは、大学生活において、専門分野の勉学を通じた知識や経験の蓄

強い希望と意思をもつて、  
弛みない努力を重ねてほしい

積とともに、皆さんの一生の財産となる数多くの出会いを通して大きく成長されたことと存じます。そして今後は、社会の様々な分野に進まれ、活躍されることと存じます。皆さんが進んでいかれようとする社会は、今だに経済不況が続く、先行き不透明な状況を呈しています。また、グローバル化の進む中、諸外国の追い上げや格差社会の始まり、地球温暖化や深刻なエネルギー問題という大きな社会問題をも抱えた大変な時代を迎えています。さらには、つい先日起こった東北・関東大震災では多くの死者、行方不明者や社会的被害をこうむりました。未曾有の自然災害ではあるというものの、その広範囲に及ぶ被害の甚大さには言葉もありません。

被害を受けた皆さんにお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を願っているものです。安全で安心な社会を築くことも大きな課題であります。

しかしながら、資源の豊かでない我が国が、その閉塞感を打ち破り、諸外国と競争しつつ共生し、かつ安全で安心な社会を築いていくためには、我が国でなければ出来ない、高い科学技術を基盤とした、持続可能で付加価値の高いものづくりやそれに関連する産業の発展、あるいはセーフティネットの構築が重要となります。「技術創造立国」を掲げ、ものづくりで発展してきた我が国のありようをも

う一度見直し、これを継続、発展させていくとともに、その中に新しい価値観を見出していくことが必要です。そして新しい社会を作り出してしていくのは、皆さんのような若者にしかできないことであり、今申し上げましたように、技術革新を発展の駆動力とする我が国においては、工業大学を卒業される皆さんへの期待が大きいものであります。

ところで、新しい社会や国作りといえ、幕末から明治へのわが国の開国、改革に大きな影響を与えた坂本龍馬や薩摩、長州を中心とする多くの若者の活躍は、昨年のNHKの大河ドラマ「龍馬伝」でも取り上げられ大きな関心を生んだところであります。また、日清、日露戦争を通じて日本の近代化に大きく貢献した秋山好古、真之兄弟の活躍を描いた司馬遼太郎の「坂の上の雲」でも話題となりました。

これらのドラマや小説が話題になるということは、世の中を覆う閉塞感の打破に対する人々の期待の一面を表していることかと推測されますが、彼らは、遅れていたわが国の近代化を志し、西欧という目標、すなわち「坂の上の雲」を目指して、坂道を一日散に駆け上がったのです。彼ら若者の志と情熱がわが国の近代化、そしてそれに続く近代工業国家としてのわが国の発展に大きく貢献したことは紛れもない事実です。そして現代においても、国や産業の発展には皆さんの力が必要です。しかしながら今皆さんの置かれている状況は、彼らのおかれていた状況とは異なります。近代工業の発展により、経済大国として発展したわが国は、すでに「坂の上

に上っているのです。そして近隣の発展途上国からは、「坂の上の雲」としての激しい追い上げを受けています。そのうえ坂を駆け上がった広場には、進むべき明確な道筋は示されていません。どこに向かうべきかを決めることも容易ではないかもしれません。このような状況のなかで、皆さんは新しい社会を創造していくことを求められているのです。しかし逆にいえば、広場には進める道はいくらでもあります。それを見つけ、その道の先に改めて目標を定め、チャレンジ精神をもって果敢に突き進んでいくことが必要です。そしてそれを可能とするのが、本学の教育モットーとして第一に上げている「創造力」であり、またそれを補完する「人間力」「共生力」であります。

さてそのことをもう少し普遍的に申し上げますと、今、大学における人材育成に関しては、わが国の大学卒業生が諸外国の大学卒業生と比べて遜色のない「学習成果」を身につけているかどうか問われています。国の中央教育審議会ではそれを「学士力」とよび、専攻する分野における基本的な知識を身につけるとともに、コミュニケーション能力や論理的思考力、倫理観を身につけ、市民としての社会的責任を果たす力をもつことを求めています。本学ではこの「学士力」の養成として、専門分野における知識とともに、「創造力」「人間力」「共生力」の三つの力を身につけていただくことをモットーとして皆さんの教育に当たってきました。

すなわち「創造力」とは、新しい問題に挑戦し、論理的・創造的思考力を



理事長  
金井 兼

本年度福井工業大学学位記授与式にあたりまして、卒業生の皆さんに一言お祝い申し上げます。

今ほど城野学長より、博士ならびに修士の学位をお受けになられた二八名の皆さん、そして、学士の学位記をお受けになられました三六八名の皆さん、ご卒業までにおめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

そしてまた、この学位記授与式にあたり、大変公務ご多忙のなか、西川一誠福井県知事様をはじめ、県内外から多数のご来賓の皆様方のご臨席を賜り、こうして厳粛に、また、盛大に学位記授与式が挙行できましたことを学園を代表して、心より厚く御礼申し上げます。

卒業生の目覚ましい成長と、本日の晴れやか門出を誰よりも喜んでおられるご家族、保護者の皆様方、まことにおめでとうございます。

そして、わが学園生を日夜温かく励まし、指導してくださった先生方、職員の皆様にも厚く御礼申し上げます。

さて、卒業生の皆さんの中で「東北関東大震災」の被害を知らない方は一人もおられないでしょう。この卒業生の中にも被災地から来られた方もおられます。被害を受けられた方々に心よ

りお見舞い申し上げます。そして、卒業生の皆さんにはこうして学位記授与式に出席できたことを当たり前と思っではしくありません。恐らく直接の被害を受けられた地域では、この学位記授与式あるいは、小・中・高校の卒業式すら開催できないかもしれません。そうした皆さんと同じ世代の方々がこの日本に多数生まれてしまったことをどうか忘れないで下さい。

学長は今ほどの式辞の中で、科学者として教育を受けられ、これから歩んでいこうとされる皆さんに対して三つの力を話されました。私は社会人として、あるいは国際人として、今まさに羽ばたかんとする皆さんに、違う言葉でこの力について申し上げたいと思います。

これから皆さんが生きていく上で、知力、体力、気力と共に、もう一つ、誇りを持つことが大事であると思います。

この二月末、日・米・中・韓四カ国の高校生の意識調査が発表され、新聞等にも大きくとりあげられました。皆さんも同じ年代として教育を受けられて、よく似た考えを持っているかもしれません。『自分は社会に必要な人間か、立派な人間か』と思うか』との問いに対して、アメリカは、八割の高校生が「自分は必要

な人間だ、自分は立派な人間だ」と思うと回答しました。しかし、残念ながらこの日本の高校生では、実に一ケタの割合という結果でした。日本の学生・生徒、また、こうして最高学府を卒業していく皆さんは、決してそんな低い数値で表される人間ではありません。

今、日本の経済は、不況に喘いでい

ます。しかし、何時までもこの状態が続くわけではなく、必ず復活をとげる日がきます。そこで必要なのは、自分は社会に必要な人間なのだという自信と誇りであり、それに知力、体力・行動力、もう一つ気力、すなわち信念をもってやり通す力が求められると思います。

恐らく、この地震の被災地で、これらの力が結集して復興に向けて大きな植音を響かせることになるでしょう。そして、皆さんが学んでこられた科学技術がそうした平和にこそ役だてなければなりません。どうかこれからも力を備えた立派な社会人として成長し続けて下さい。

今回の大震災では、原子力発電所の大きな事故も起こりました。本学においても、原子力技術応用工学十名の方が学士の学位をお受けになられました。この福井県にも多くの原子力発電所が設置されています。このような事故が二度と起きないよう、英知を結集すべきときだと思えます。

今、皆さんが羽ばたこうとする社会は、経済不況をはじめ、様々な難問に直面しています。

環境や状況が困難であればあるほど、挑戦の心と勇氣はさらに大きくなるかなければなりません。

どうか皆さんの英知で、勇敢に、誠実に、そして忍耐強く、日本の繁栄、また世界平和に貢献できる人材に成長されることを心より期待しております。

最後になりましたが、ご家族ご一家のご繁栄と皆さん一人ももれなく、栄光の人格を輝かせながら「我が人生に『くいなし』とさげびされる勝利の劇を堂々とかざりゆくことを心から願って告示と致します。

通して、新しい技術、知識、価値を作り出していく能力です。常に自分で考える力を持ち、知識を応用する力を身につけ、能動的に行動することが大切で、これが今申し上げた新しい社会を築いていく原動力となるものです。

「人間力」とは、広い視野と豊かな教養、倫理観を身につけ、ものごとを広い立場から考え、正しく判断できる能力です。広い観点から、何が人類社会にとって大切であるかを判断の基準として、主体的に行動してください。

「共生力」とは、まわりの人とコミュニケーションをとりながら、他者とともに生きる力です。異なる分野の知識を集め、あるいは異なる立場の人との相互理解や対話があつてはじめて、安全で安心な社会が築けるものです。

繰り返になりますが、これからの社会を進展させていくためには、工学を学ばれた皆さんに期待するところが大きいものであります。希望される道に進まれる方はもちろん、昨今の就職状況から、必ずしも自分の第一希望でない分野に進まれる方もいるかと思いますが、どのような道に進まれようとも、置かれた環境で最善を尽くすよう努力してください。あきらめず、一生懸命努力していると必ずや「やりがい」が見えてきます。

そして「やりがい」が見えれば、その仕事が好きになり成功へとつながります。

皆さんも、長い人生、これからいろいろなことがあるかと思

います。また社会の進歩、変化も急速に進みますが、目標を持ち、それを達成するのだという強い希望と意思をもって、弛みのない努力を重ねて行っていたきたいと思っています。勉学は大学時代だけで終わるのでありません。これからが本当の意味での自分のための勉強が始まります。大学で身につけた考える力、知識を応用する力、また人間として生きる力をこれからも絶えることなく磨きつつ、自身自身の判断と決断で、是非積極的な人生を送っていただきたいと思っています。

最後になりますが、皆さんは、建学の精神に則り、国を愛し、人間性を養い、科学技術の研鑽に努めてこられました。これからは人類社会の福祉に貢献する番です。進まれるそれぞれの分野で、十分享力を発揮され人類社会の福祉に貢献することを念頭に活躍されることを祈念して、学位記授与式の式辞といたします。





平成二十三年 度

まず、城野学長は、来賓の方々へのお礼に続いて、東日本大震災で被災されたかたがたへのお見舞いの言葉を述べ、新人生に対してお祝いとお歓迎の挨拶として次のように述べられた。

皆様は今入学式を迎え、喜びと希望に胸を膨らませてのことだろうと推測いたします。あるいはその一方で、新しい大学生活に一抹の不安を感じられているのではないのでしょうか。特に故郷を離れ、福井にこられた学生諸君は、慣れない一人での生活にも不安を感じていることでしょう。したがってここでは、まず大学で学ぶための心構えについて少しお話をさせていただきます。

いままで皆さんは、高等学校での決められた教育課程、時間割のもとで、学習をしてきたと思いますが、大学では何を学ぶかは自分できめることとなります。また、今までは答えがひとつであり、確かに答えのある問題を解いてきたと思いますが、大学では何が答えであるかを自ら見つけることが大事になります。一つのことを解決するたための手段や方法はたくさんあります。多くのやり方や手段がある中から一番良い方法が何であるかを考えなければならぬことになります。この「何が一番良いもの」であるかを考え、その答えを見つける力を養うことが、大学

社会人として育っていったか、と願っています。

それでは何が立派な技術者、社会人でしょうか。今、我が国の経済状態は依然として低迷状態にあり、また、社


ところで、皆さんは大阪にある適塾  
に学び、後、慶応義塾大学を創設した  
福沢諭吉をよく知っておられることと  
思います。一万円札の肖像画にもあり  
ますが「天は人の上に人を造らず、人  
の下に人を造らずと云えり」で始ま

会では、地球温暖化さらには深刻なエネルギー問題や格差社会の始まりという大きな課題をも抱えた大変な時代を迎えています。さらに、先ほども述べましたが、未曾有の震災に見舞われましたが、安全で安心な社会をこれを克服し、

る「学問の進め」を表したことで有名な。この言葉は、人は生まれながらにして皆が平等であることを意味していますが、皆さんはそれに続く言葉をご存知でしょうか？現代語に直しますと、「しかしながら、広く世界を見渡してみると、賢い人もおろかな人もいます。貧しい人も富める人もいます。また、社会的に地位の高い人も、低い人もいます。こうした雲泥の差と呼ぶべき違いはどうしてできるのだろうか」と

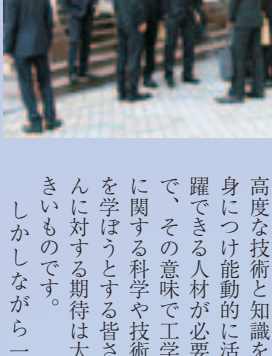
築いていくことも大きな課題となっています。資源が豊富でなく「技術創造立国」を標榜してきた我が国が、この困難な状況を打ち破り、世界の各国と競争しつつ共生していくためには、我が国でなければ出来ない、新しく付加価値が高い持続可能な技術開発、もたれを進めていくことが必要であります。また、災害のない安全で安心な社会を築くためにも、災害を科学的に検証し、人々の社会生活を考えつつ、科

問いかけ、その理由として、その違いは、「学ぶか学ばないかによってできるものがある」と明確に述べています。



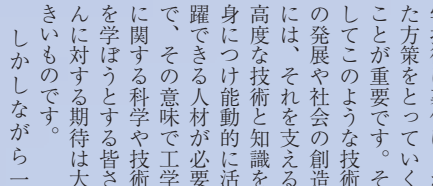
学技術に裏付けされた方策をとっていくことが重要です。そしてこのような技術の発展や社会の創造には、それを支える

今皆さんは、福井工業大学の門をくぐり、科学技術やそれに関連する事柄を学ぶ機会を与えられています。そのチャンスを生かし、ぜひ、勉学を深めることにより、立派な技術者



高度な技術と知識を  
身につけ能動的に活  
躍できる人材が必要  
で、その意味で工学  
に関する科学や技術  
を学ばうとする皆さ  
んに対する期待は大  
きいものです。

しかしながら一



方では、グローバル化の進む中、我が国の大学卒業生が、諸外国の大学卒業生と比べて遜色のない「学習成果」を身につけているかどうかが問われている。国の中央教育審議会は、それを「学士力」という言葉でよび、専攻

て、例えば数学や英語に關し、果たして工業大學で学ぶのに十分な学力がついているかどうか心配をしている方もいるかも知れません。したがって本学では、主要科目について、皆さんの学習歴に対応して、習熟度別クラス編成

する分野における基本的な知識を身につけるとともに、コミュニケーション能力や論理的思考力、自己管理能力や倫理観を身に付け市民として社会的責任を果たす力をつけることを求めています。また、大学には、学生がこれらの力を確実に身につけたかどうかを検証して、初めて学士の学位を与える、すなわち卒業を認めるようにすることを求めています。そして本学ではこれら

を行って授業を進めます。また、さらに理解度が不足する場合には、学習支援センターを設け、個人的な学習指導を行っています。理解度に不安を感じたときには、遠慮せずに、担当教員の先生に相談するか、学習支援センターを訪ねてください。また、大学は優秀な学生さんに対しては、大学院一貫教育を実施し、高度な教育や大学院への接続教育を行っています。今全国的に

の力を「創造力」「人間力」「共生力」と呼び、この三つの力を皆さんにつけていただきたいと願ひ、その勉学の方法を「学びの指針」にまとめ、皆さんに配布いたします。「学びの指針」をよく読み、自らの学ぶべき事柄、学びの方法をよく理解してください。

このように大学は、学科に応じて適

また、低迷する経済状態から企業での雇用状態が大変厳しい中、皆さんには、社会へのスムーズな移行のため、社会的・職業的自立能力を身につけることも要求されています。そのため本学では、新しくキャリアセンターを設け、皆様のキャリア教育や就職支援に、教職員が一体となって当たることにしています。

切なカリキュラムを用意するとともに、皆さん一人一人に対して最も適切だと考える教育や指導、支援を行うことを考え、教職員一体となって、出来る限りの用意をしています。しかしながらそれを生かすのは皆さんの心がけ次第です。これはいつも言うのですが、大学が何をしてくれるかではなく、大学で何をするかが皆さんにとって最も

これらの勉学やキャリア形成支援を通じて是非、この国の文化と伝統を大切に、節義を重んずる人格を磨き、科学技術の研鑽に努め、以って人類社会の福祉に貢献するという「建学の精神」を実現出来る技術者として育てていきたいと思います。

また大学とは、単にそこで授業を受けるだけのところではありません。人組んで下さい。

また、近年の特徴として多様な高等学校の課程で学習した学生さんが入学されています。自分の学習歴を考え

との深い交わりを通じて、豊かな情操を養うところでもあります。その交わりは、勉強、課外活動、スポーツなど

の学生生活から生まれるものです。これらの活動を通じて、人生を考え、自然や人間の素晴らしさに感動できる心を育てることが出来ます。学生時代の四年間あるいは大学院での二年間を含めると六年間になりますが、これほど時間を自由に使えるときはないでしょう。高校時代は決められた授業や受験勉強で、また社会に出れば企業の規則に縛られそんなに自由に過ごすことはできません。大学時代は自分自身で時間の使い方を決めることができます。最も大切な期間です。漫然と無為に過ごすのではなく、目的意識をもって、豊かで楽しい学生生活を送られんことを期待して式辞といたします。

次いで、金井兼理事長は「穏やかな春の陽ざしに恵まれたなかでの入学式本当におめでとうございます。また、ご両親、ご家族の皆様にご心からお祝い申し上げます。

約一ヶ月前に、東日本一帯を襲う未曾有の大災害が発生しました。皆さんと同じくこの大学を受験された受験生にも東日本出身の方がおられました。そしてまた、この大災害で尊い命をおとされた多くの方がおられます。今日こうして入学式が挙行できることに感謝しながら、尊い命をおとされた皆さんに、また、被災された皆様方に心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

この災害の中で、原子力発電所の大変な事故も起こりました。新入生の皆さんも、この惨状を理解していると思います。この事故を契機に、日本の原子力、エネルギー政策は大きな転換期を迎えるかもしれません。これだけの尊い命が奪われ、これだけの犠牲をはらったこの大災害を教訓として今後にかさなければなりません。

日本は有史以来、幾度となく大災害にみまわれております。皆さんの記憶に新しいところでも、阪神淡路大震災があります。

福井県においても、この学園が開校する前年の昭和二十三年、大地震に襲われました。その前には、大変不幸な第二次世界大戦があります。日本本土のほとんどが焼失しました。しかし、これらの苦難を乗り越え、日本は復興して今日の姿になりました。

どうしてこのような小さい島国である日本が、戦後半世紀で世界第二位の経済大国に成長したのか、阪神淡路大震災のあと、数年で今日の姿に復興したのか、それはひとえに、皆さんがこれから学ぼうとする科学技術の力と、日本人がもつ勤勉さに負うところが大きいと認識しています。

皆さんは、これから工学という学問を学ぶにあたり、この勤勉さを遺憾なく発揮していただきたいと思います。

日本の青年は、世界の国々の中で、ややもすると、自分を卑下した見方をしているようです。今日より高等教育のスタートを切られたわけですが、どうか自信をもつて、誇りをもつて、教育研究に邁進していただき、我が学園の建学の精神にある人類社会の福祉に貢献する人材として成長されることを心より願っています。

大事な皆さん方です。思うようにいかない時も、一歩また一歩と前へ踏み出す挑戦の勇氣をもやしていくことを忘れないで下さい。

皆さん方の晴れやかな前途を私は全幅の信頼と期待をもって見守ってまいります。

そして、皆さんのような若い力によって、元気な日本が再びもどてくことを心より願っています」とお祝いの言葉を述べられた。

## 福井工業大学 人事異動

(新着任) 平成二十三年四月一日付

機械工学科教授	塩澤和章	機械工学科教授	原茂太
産業ビジネス学科教授	横谷智久	土木環境工学科教授	小笹泰
環境生命化学科教授	廣瀬重雄	建築学科教授	花崎紘一
原子力技術応用工学科教授	寺川和良	環境生命化学科教授	江川隆進
デザイン学科准教授	安嶋諭	原子力技術応用工学科教授	畠山兵衛
教養部准教授	伴浩美	原子力技術応用工学科教授	田中光雄
建築学科講師	中野民雄	原子力技術応用工学科教授	山中龍彦
産業ビジネス学科講師	野口雄慶	教養部教授	南園忠則
教養部講師	坂本伸子	教養部教授	黒田英三
教養部講師	トムソン・サム	建築学科准教授	鉾之原善章
教養部講師	于建民	デザイン学科准教授	高橋正紘
教養部講師	王愛武	教養部准教授	永野康行
		教養部講師	池内良成
		教養部講師	杉本武夫
		教養部講師	コーバーン・マーク
		教養部講師	邵展眉
		教養部講師	唐麗燕
電気電子情報工学科教授	多田紘二		
電気電子情報工学科教授	波々伯部圭佑		
機械工学科教授	河合伸泰		

(退任) 平成二十三年三月三十一日付



特集

# 新しい大学を目指して



学長 城野政弘

二十一世紀は、社会のあらゆる分野で、新しい知識と情報・技術がますます重要となる知識基盤社会であるといわれているが、それを支える技術者、研究者の養成が不可欠であり、工学系大学の果たす役割は以前にも増して重要となっている。本学では、開学以来、ものづくり、社会を担う技術者の育成を目指してきたが、近年の諸外国の追い上げを考えると、さらに高度な、わが国でなければできない付加価値が高く、持続可能な社会を支える「ものづくり」が必要となっている。そのためには、単に「もの」の効率や経済性のみでなく、どのようなコンセプトでつくるかということも重要となり、本学では一昨年デザイン学科を開設した。さらに昨今の技術競争を考えると、開発した技術を産業やビジネスの場で活用できる人材育成が重要となっていることから、本年度産業ビジネス学科の新設を行った。これにより、デザインから技術開発、そしてそれをビジネスの場で生かす総合的な技術教育、人材育成が可能となるもの

と考えている。

また一方では、グローバル化の進む中、我が国の大学卒業生が、諸外国の大学卒業生と比べて遜色のない「学習成果」を身につけているかどうかが問われている。国の中央教育審議会は、それを「学士力」という言葉でよび、大学には、学位の授与に際し、真に「学士力」を身につけたことを検証することを求めている。

本学では、これらの力を「創造力」「人間力」「共生力」と呼び、専門分野における知識とともに、これら三つの力に身につけることを目標とし、そのためにどのようにして学習すれば良いかを示す「学びの指針」を作成し、昨年来学生全員に配布している。また、学習環境の整備を目指して、図書館の拡張を図りラーニングコモンズを新設するとともに学生食堂を一新し、学生生活環境の改善にも努めている。

さらに昨今の厳しい雇用状況の改善や卒業後の社会へのスムーズな移行のため、大学には学生の社会的・職業的自立能力の育成を目指し、組織的な対

応を行うことが要請されている。本学では従来から教養科目やFTHにより社会的自立能力を養うとともに、就職支援課が中心となり、キャリア形成の支援を行ってきたが、本年度からは、さらに一歩進め、大学にキャリアセンタ―を新設し、教職員が一体となって学生のキャリア教育・支援を行うべく組織改革を行った。保護者の皆様におかれましても、ご理解、ご支援をお願いする次第です。





産業ビジネス学科主任 野村康則

# 1 産業ビジネス学科新設

四月より産業ビジネス学科がスタート致しました。産業ビジネス学科誕生までに、設立準備委員会で九二年間の月日をかけてようやくスタートが出来たものです。特に時間をかけて検討したことは、新学科の設立主旨が文部科学省の大学設置基準に合致しており、教育内容がその学習指導要領に沿ったもので、且つ新学科が目指す教育内容と学生の就職進路がうまくマッチングした教育体系となっているか、という点です。最終的なゴールは新学科に入学した学生が我々の求める人材像通りに育ち、また必要な資格が取得でき、卒業時に全員が希望する所へ就職できることです。今から4年後にその真価が問われることとなります。新学科の定員は五〇名で、「地域共生ビジネス工学コース」と「スポーツビジネス工学コース」の二つの専攻を備えています。産業ビジネス学科で卒業に必要な単位を修得し、中核科目の目標到達度の認証を受け、更に卒業研究に合格した学生には学士「工学」の学位が授与されます。科学技術立国であるわが国

で学士「工学」の学位が得られるということは就職に大変有利であると思います。また、設立準備委員会で九二年間の月日をかけてようやくスタートが出来たものです。特に時間をかけて検討したことは、新学科の設立主旨が文部科学省の大学設置基準に合致しており、教育内容がその学習指導要領に沿ったもので、且つ新学科が目指す教育内容と学生の就職進路がうまくマッチングした教育体系となっているか、という点です。最終的なゴールは新学科に入学した学生が我々の求める人材像通りに育ち、また必要な資格が取得でき、卒業時に全員が希望する所へ就職できることです。今から4年後にその真価が問われることとなります。新学科の定員は五〇名で、「地域共生ビジネス工学コース」と「スポーツビジネス工学コース」の二つの専攻を備えています。産業ビジネス学科で卒業に必要な単位を修得し、中核科目の目標到達度の認証を受け、更に卒業研究に合格した学生には学士「工学」の学位が授与されます。科学技術立国であるわが国

産業ビジネス学科は工学部にありながら、文系的な要素も備えた初の文理融合型教育実践の場ということが出来ます。理系向きの学生は経営・財務を学び、文系向きの学生には工学基礎を培養することとで企業人としてオールマイティーな実務人材の育成が目的です。「スポーツビジネス工学コース」は、決してスポーツ選手を育成する学科ではありません。飽くまでスポーツという学問を通じてスポーツビジネス界で活躍できる人材育成がその目的です。

これからの日本を支える人材に要求されることは、経営マインドを持ったものづくり志向が出来る右腕人材です。右腕人材とは技術が理解でき、経営財務や労務について造詣が深い人材を指します。新学科はまさに右腕人材育成の場に相応しい学科と言えます。産業ビジネス学科で育った学生が地域企業で活躍し、引いては地域活性化に貢献出来、日本の社会を元気にして欲

しいものです。また女子学生にも産業ビジネス学科の門を叩いて戴けるように、女子学生向きの教科も多数用意しています。全く新しい概念の画期的な工学部における学科と言えます。後援会の皆様方には紙面をお借りし、産業ビジネス学科の御支援方宜しくお願い申し上げます。



産業ビジネス学科の教員



# 2

## キャリアセンター新設



キャリアセンター長 島田幹夫

本年四月一日付けで、「キャリアセンター」が新設されることになりました。本「センター」（以下、「センター」と呼ぶ）の設立の背景、目的や業務内容の概略を紹介させていただきます。

まず、社会的背景から見ますとリーマンショック以来、低迷する厳しい雇用状況下において、学生の資質能力・向上を求める社会からの要請、学生の多様化に伴う卒業後の移行支援の必要性等を含め、大学には教育課程内外を通して社会的・職業的自立に向けた指導に取り組み、そのための体制を整えることが要請されております。これを受けて、平成二十年三月には、文部科学省中央教育審議会は、学生支援の充実、職業指導の明確化の方向性を提示しており、「学士力」の強化を学士課程教育（「入り口」、「中身」、「出口管理」）の改革として適切に位置づけることを要請しています。さらに、文科省は大学設置基準の改正（本年四月一日施行）により、学生への「職業指導（キャリアガイダンス）」を大学・短大に義務化する」ことを定めました。

本学は平成十九年の認証評価において、教育課程・職業指導に対しても良い評価がなされていますが、今回の改正をきっかけに、「キャリア」教育を見直し、

本学の就職支援システムをさらに強化する体制を整えることになりました。即ち、「センター」（一号館三階）では、センター長の下、センター員一同（就職支援課職員、就職支援担当およびキャリアコーディネーター教員）は一体となって協力・協働・連携して、「センター」の運営にあたります。その目的は、まさに就職率の改善を目指すと共に、「学生のキャリア形成および就職支援のための事業を



企画・立案・推進し、本学の教育に資すると共に、本学学生の社会的および職業的自立を支援すること」にあります。

具体的な「センター」の業務（取り組み）内容として、

- ① 「キャリア教育」の企画（インターンシップ制の充実、新しい授業科目の導入とカリキュラムの見直し）
  - ② 各種支援プログラム
  - ③ 学生のキャリアアカウンセリング
  - ④ 大学院生のキャリアサポート
  - ⑤ 既卒者、就職留年生及び研究生などへの就職支援
- を目指しております。





図書館長 齋藤敏明



# 3 ラーニング commons 新設

学生諸君の教育や学習のための大学図書館の役割は、従来は種々な学術情報と静かな環境を提供し、学生諸君が主体的に勉学に励むことができる場を提供することであつた。一方、最近の学生諸君には

インターネットを駆使し、仲間と相談しながらレポートなどを作成する学習スタイルが広がっている。また、図書館の学術情報をもっと生かした授業を行いたいという声もある。こうしたグループ学習や授業を図書館でも可能とした場がラーニング commons (学びの共有の場) と呼ばれるものである。

学びやすい環境を大学に作るという流れの一環として最近注目を集めている。

本学図書館においてもこのようなシステムを導入すべく検討を行ってきたが、この度、学園の理解を得て新しいスペースが確保できることになり、従来の静かな環境を保ちつつラーニング commons が新設できることとなった。以下にその概要をご報告する。

## 図書館ラーニング commons

### 場所 FUTTAW3 階

図書館資料を自由に利用して、グループ学習、個人学習、パソコン作業、プレゼンテーションなど幅広い学習活動を行なえる場所がラーニング commons です。自分の学習スタイルに合わせて、「静」の空間である従来の

図書館とこの場所をうまく使い分けてください。ラーニング commons は機能別に5つのスペースに分けられています。それぞれのスペースの活用方法をご紹介します。

### 1. コラボレーションスペース

学生同士が、気軽にコミュニケーションを取り、考えをまとめあげる学習が行なえるスペースです。可動式のテーブルや椅子、ホワイトボードを使い、様々な人数に対応したグループワークを行なうことができます。LAN環境が整えられ、個人所有のパソコンで情報検索や資料作成も自由に行なうことができます。図書や雑誌の図書館資料も持ち込んで利用することが出来ます。

### 2. プレゼンテーションスペース

15人ほどが入る個室で、プロジェクター、スクリーンなどのプレゼン機器を利用して、グループやゼミ単位で様々な発表を行なうことができます。視聴覚機器も備えられ、グループでのDVD鑑賞も可能です。

### 3. AVコーナー

図書館3階にあったAVコーナーをラーニング commons に移設しまし

た。個人用ブースが10台あり、DVDやビデオの視聴を楽しむことができます。

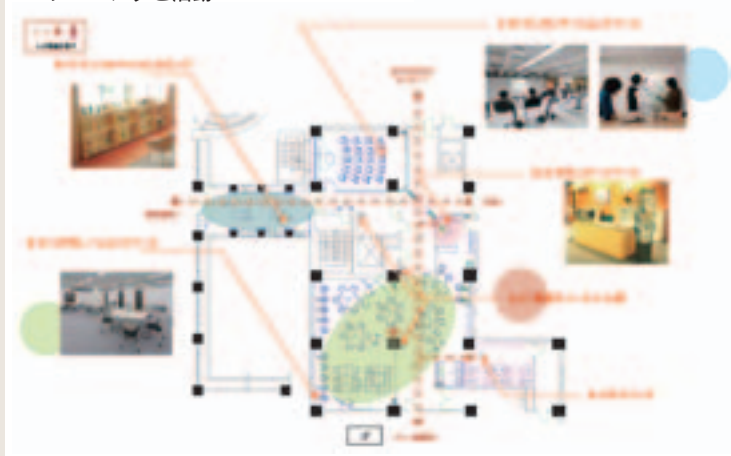
### 4. インフォメーションラウンジ

図書館とラーニング commons をつなぐ渡り廊下部分に設けられたスペースです。掲示や展示による、様々な図書館情報の配信を行なっています。

### 5. カウンタースペース

図書館職員が待機し、施設の利用案内やIT機器利用のサポート、また、情報検索の指導など、利用者の様々な質問・相談に対応しています。

## ゾーニングと活動



## 「研究室を訪ねて」

建築学科・教授  
西岡 哲平



コンピュータを使った  
室内環境の研究



# 気候変動と住宅のエネルギー利用技術 「屋根融雪」から「エクセルギー」へ

私の研究室は建築学科に所属し建築環境工学・設備に関する研究を行っています。近年、「低炭素」指向の建築やエネルギー利用が厳しく求められるようになりました。化石燃料の十分な資源のない日本では、このような社会の流れを「自然エネルギー利用」と「エネルギー利用効率の向上」の契機として前進させて行く事が重要です。

私の研究室では建築環境の中でも特に住宅のエネルギー利用技術を中心に研究を行ってきました。私の本学での研究キャリアは自治体から委託された「屋根融雪システム」の研究から始まりました。この時「雪対策」に貴重なエネルギーを浪費して良いのかという問題を考えるうちに私が現在研究しているエネルギーの質を表す「エクセルギー」の重要性に気付きました。

私が本学に着任した昭和六十年代は「五十六年豪雪」の直後で、各地の大学に「屋根雪の処理技術」に関する研究依頼が持ち込まれていました。私は富山県で実験を行い、同県の「融雪屋根モデル住宅」なるものを

を建設するお手伝いをしました。しかし、その後「気候温暖化」の進行により、北陸地方では典型的な「少雪期」に入った事もあり、ついに「屋根融雪」システムは普及しませんでした。その原因は社会的ニーズの低下以外に幾つかの技術的問題があります。しかし、雪対策自体がローカルなテーマで、一般のメディアで取り上げる事はないので、この場を借りて、少し述べてみたいと思います。

「屋根融雪」の技術的な問題点は融雪には大量の熱エネルギーが必要で、効率の良い熱利用が不可欠ですが、実際にはこれが非常に困難な事です。

例えば道路用の「融雪パイプ」のような散水式（完全融雪式）は技術的に容易ですが、熱利用効率が非常に悪く、屋根融雪には通常の雨の何倍もの散水量が必要ですから、棟からの漏水や水に含まれる不純物による屋根材の汚れなど厄介な問題が生じます。そこで、屋根上に積もつてから、屋根面を下から加熱して溶かす方式（部分融雪式）が盛んに実験されました。しか

し、屋根表面を長時間加熱すると熱の伝わり易い部分だけが融けて空洞が出来、効果的な融雪が継続できなくなる事、発生した水柱が雨樋を詰まらせる事が判りました。このため屋根材や周辺部分のデイトールなど建築工學上の根本的な見直しが必要になります。これらの事は深く検討される事なく、人々の関心から遠ざかりましたが、将来、再び「雪対策」が必要になった時に必ず解決すべき課題です。

現在、研究室で行っている仕事は大きく分けて二つあり、一つは住宅の冷暖房負荷を軽減するパッシブシステムや壁内部の赤外線反射膜の防暑効果の測定などの実験、もう一つは住宅のエネルギー利用技術の調査分析です。

現在、日本の住宅では「太陽光発電」の普及が進み、これに加えて「燃料電池」によるコジェネレーション（発電＋給湯設備）や「スマートグリッド」のような新技術の実用化が試みられています。これらを「エクセルギー」の概念でみると次のような事が判ります。従来のようにガスや灯油を暖房・給



日射反射シートの実験棟

湯に燃やす事はエネルギー利用として得策でない事、又、住宅用に高価なコジェネレーションを導入する利点も最新の火力発電所の発電効率の向上によって非常に低下しています。暖房・給湯のような低温の熱需要にはヒートポンプを用いるのが最も熱効率が高く、コストも安いのです。住宅の「オール電化」が急速に普及している理由もここにあります。住宅のエネルギー消費は国全体のエネルギー需給や環境、経済活動に大きな影響を与えます。今後「エクセルギー」の概念に立脚したエネルギー戦略の確立が必要と考えます。



## 「研究室を訪ねて」

経営情報学科・教授  
寺田 郁二



# 魚ロボットから 沿岸情報監視システムへ

柔らかい板を水の中で振動させると推進力が得られます。弾性体と流体との相互作用で力が生まれるのです。この技術は船舶の推進技術の一つとして知られています。

最近、コンピュータ技術や自動制御技術が発達しましたので、柔らかい振動翼（ひれ）をうまく制御して推進力を効果的に得ることが可能になりました。目標速度などの要求運動特性に合わせて振動翼の振幅と振動数および位相をコンピュータ制御します。この制御法では、一つのアクチュエータ（装置）で推進力と力の方向を同時に制御できますので水中におけるビークル（航走体）の三次元運動を容易に実現できます。

私はこの技術を使って、魚ロボットを開発しました。魚の滑らかな動きをロボットで再現して水槽内で実際に泳がせたのです。これが「本物そっくりの魚ロボット」として評判を呼び、世界初の水中アニメマトロニクスとしてギネスブックに認定されました。（写真1）



（写真1）鯛型の魚ロボットの遊泳

また国内でも反響があり、その游泳写真が中学校の教科書にも掲載されました。子供達に夢を与えるようなロボット開発が、技術立国日本の将来を背負う人材育成の一助になるという訳です。

また、魚ロボットは、愛知万博で「金の鯱ロボット」として再現され

好評を得ました。さらにテレビドラマ「華麗なる一族」のクライマックスシーンで「黄金のコイ・ロボット」として出現し話題になりました。最近では、南アフリカで進められている「シーラカンスの保護」計画の啓蒙活動にシーラカンス・ロボットが活用されています。（写真2）



（写真2）シーラカンス・ロボット

私の研究室では、卒業研究として小型の魚ロボットの試作研究や最新

のソフトウェア技術を用いたロボット指令システムの設計ならびに魚ロボットを用いた海のセキュリティシステムなどの検討を進めています。（写真3）



（写真3）実験風景（福井テレビ提供）

狭く入り組んだ海岸地域で、人工衛星やレーダでは捉えきれないような小さな船舶の出入りをチェックする目的で、常時、魚ロボットを情報収集センサー（機器）として海に回遊させておけば、不法入国や密輸入の防止に役立つはずです。

# 本学に 赴任して



機械工学科  
河野 託也  
講師

**あ**つという間に、本学での一年が過ぎました。昨年四月に茨城県つくば市から本学機械工学科のロボット開発コースに赴任しました。私の出身は岐阜県多治見市です。多治見市の夏は、埼玉県熊谷市と競い合いもの凄く暑くなることで知られています。冬は、太平洋側の天候と同じで晴れる日が多いですが、放射冷却によりよく冷え、空気が乾燥します。福井市内から多治見市までは、自動車です。多治見市までは、自動車で楽に帰省できる距離にあり、本学に赴任でき喜んでいました。この一月末の北陸の大雪には大変驚かされ、この地で生活できるのかと心配になりました。しかし、親子三代で雪掻きをする様子であったり、子どもが雪掻き作業も遊びに変えてしまう姿に癒され元気を頂くと共に、先生方の力添えにより充実した日々を過ごすことができました。

大学教員としての仕事を初めて行うことになったこの一年、学生の教育や研究活動を行う中で大学の存在意義や教員として果たすべき事は、何であらうかと考えてきました。現社会は、インターネットを使い色々な情報を得られるばかりか、検索する側の意欲により

大学に通う事なしに、学びたい事や得たい知識を簡単に入手できます。では、知を教える他に大学の存在意義は何であるのかと考えさせられます。それは、大勢の人たちが実際に集まる場所であり、学生にとつては、実社会に出る前に様々な事を体験・経験できる場所ではないでしょうか。就職難と言われる昨今ですが、多くの企業の新卒者採用選考において最も重視される点は、コミュニケーション能力や協調性と言われます。インターネット上では、これらの能力を鍛え磨くことは困難ですが、大勢の人びとが集まる大学は、これらの能力を養う最高の場所です。本学では、これらの能力を人間力という言葉で表し、専門分野の授業とは別に、人間力を養成する数多くの授業を設けています。また、担当教員制により一年生から四年生までの学生一人一人に、担当教員が必ず一人おり、学習面から生活面についての話を聞いたり、指導・サポートを行っています。地区懇談会の席においても、親御様から色々な人と関わり合う中で、人間力を養って欲しいとのご意見を実際に頂きました。これらの授業や卒業研究の指導を通して、人間力と専門知識を身に付けた学生を世に送り出すことが私たち教職員のなすべき事であると思っています。

最後に、私の専門分野を紹介します。私は今まで主に中性原子のレーザー冷却の実験を行ってきました。この分野は、一九九七年、二〇〇一年および二〇〇五年とこの十五年間に三度もノーベル物理学賞受賞者を輩

出しています。さらに、受賞対象となった論文発表の五から十年以内に同賞を受賞している点から、これらの研究が、いかに現社会や現代物理学に対して価値のある発見や発明であるのかを伺えます。このように私の専門分野では大きなブレイクスルーが最近に立て続けに起き、それらを利用して、現在も研究が進展しています。この分野は物理的にも実験技術的にも非常に奥が深く面白いため、今後もこの研究を続けて行く予定です。ただし、長いこと同じ分野で研究を続けていると視野が狭くなりがちであり、幅広い視点を持ち続けられるように心掛けたいと思っています。現在、私は、レーザー冷却技術の二つの応用である光格子時計という日本発祥の技術を利用した光時計の実験的研究開発に携わっています。実験的という意味は、ものを実際に作ることであり、その過程において機械工学で学ぶ知識が非常に重要です。また、既製品は存在しないため、自らが設計から試作・製作・評価まで行っています。本研究から得た経験を生かし、本学学生に実践的な技術や知識の教授に少しでも貢献したいと思っています。



経営情報学科  
千葉 賢  
講師

**早**いもので本学に赴任してから一年が経とうとしています。出身が新潟であることから、冬の北陸の天候はある程度予想はついていたのですが、冬の雷の多さや雪の量には衝撃を受けたことも事実です。また、本年度は教員一年目であったこともあり、不慣れな部分も多々ありましたが、周囲の方々の温かい力添えを



頂き充実した日々を過ごすことが出来ました。

私の専門分野は計量経済学と呼ばれるもので、一言で言えば様々な経済事象を表現する数式モデルを構築したり、検証したりする学問です。一見、工業大学の教員が専門にするには違和感を持たれる方もおられるかもしれませんが、経済学は物理学や制御工学といった理学・工学の分野と密接に関連した学問であり、現在は理系的な素養が必要不可欠な分野となってきましたのが実情です。マーケティング・サイエンスやオペレーションズ・リサーチといった経営工学と似通った分野と違って頂ければ分かりやすいかもしれません。実社会でもシンクタンクや金融機関を中心にニーズの高い分野なのですが、現在の理科離れ・数学嫌いという流れの中では敬遠されがちな分野になっているらしく、入学生の嗜好と社会のニーズのギャップを感じていることも事実です。来年度新設される産業ビジネス学科では実社会のニーズに即した職業人を育成する事が課題となっていることから、このギャップを少しでも縮めることが出来るよう一教員として努力していきたいと考えています。

この一年私が担当した講義は基礎数学・線形代数学・微分積分学・統計学・多変量解析です。いずれも、経営情報学科の学生にとっては大事な基礎科目です。当初、担当する科目を知ったときは、文系出身の自分が理工系の科目を講義して良いか自信が持てなかったのですが、実際に講義を行ってその実感が理解出来ました。経営情報学科に入学してくる学生の相当数が、経営情報学を学ぶ上で必要な数学的基礎学力が不十分なのです。当初は伝統的な板書スタイルで授業を行っていましたが、一方的な講義になってしまったため、パワーポイントを使用することで直感が働き易くするだけでなく、小テストを課すことで毎回の授業で重要なポイントを実感できるように工夫しました。効果がどれほどあったかは定かではありませんが、シャトルノート等を通じて学生の授業に対する意見を取り入れていきた

と考えています。

学生が大学で学習し研究することは、今後の人生において大きな糧になるだけでなく、様々な出会いがあります。本学で過ごす四年間が良い出会いになったと実感できるような場を提供できるよう日々努力していきたいと考えています。



教養部  
入学直哉  
講師

## 平

平成二十二年四月に本学に赴任致しました。福井は初めての土地であり、特に九州生まれの私にとって冬の厳しさは覚悟をしていましたが今年の大雪は想像を絶するものでした。その冬もどうにか乗り越え福井での生活もようやく二年が過ぎました。

私の専門分野は言語学です。主に英語を対象として言語変化のメカニズムの解明や人間の認知能力と言語表現との関係について研究をしています。地球上に存在するすべての自然言語は長い年月を経て音韻・形態・文法・意味などの点において様々な変化を被り現在のような姿になりました。十年、二千年の単位ではこのような変化を感じ取ることは難しいですが、私達が日常使っている現代日本語も今なお確実に変化し続けています。もちろん英語も同様です。言語研究によって新たな知見が日々発掘されています。私はそのような成果を実際の教育の現場に還元することを常に心がけています。本学は平成二十一年度文部科学省大学教育推進プログラムに「入学初年次から学ぶ工学英語」が採択されました。私も着任一年目から工学英語教育センター委員として本プログラムに参加させて頂いております。

本プログラムの導入に伴い、平成二十二年入学学生からは従来までのいわゆる教養英語ではなく工学英語を学ぶことになりました。テキストも工学部の専門教員が厳選した英文の素材を英語教員が講義で使える形に加工し、練習問題等を加えて本学独自のものを開発しています。昨年度、私は一年生の基礎工学英語を担当しましたが、講義名の通りテキストの内容が地球温暖化やエネルギー問題、気象観測など学生の専門に沿った自然科学を扱ったものであるため、アンケートの結果などからも興味を持って受講した学生が多かったように思います。ただ授業の進め方に関しては試行錯誤を重ねました。授業評価アンケートやシャトルノートの学生からのコメントを参考にして補助教材の形式や内容を少しずつ改良しながらの一年でした。幸い本学には非常に真面目で素直な学生が多く、授業自体は大変やりやすかったです。

また本プログラムの一環としてオーストラリアやイギリスの提携大学での語学研修が用意されております。生きた英語を学ぶことはもちろん大切なことですが、それ以上に異文化を実体験することは貴重な経験になります。海外で生活してみても初めて分かるその国と日本との文化や習慣の違いはたくさんあります。学生にはぜひ若いうちにそのような経験を通して外国の文化を理解し自国の文化との違いを認めることができる能力を養ってもらいたいと思います。

工学部の学生にとって英語は専門とは関係のない教養科目に過ぎないかもしれませんが、やはり将来において語学力を身に付けておくことは大切なことだと思います。例えば就職活動においても専門関係の資格以外にTOEICのスコアを取得していればそれは大きな武器になります。一年次から目標を定めて語学関連の資格取得を目指してもらいたいと思います。そしてそのためのサポートは出来る限りしていきたいと考えています。

# に貢献



## 「未来塾」

### 開講

#### ▼本年度は二回開催

平成二十二年度は、七月四日に脳科学者の澤口俊之氏を招いて「頭をよくする脳科学」をテーマに、また十一月二十八日にはフリーアナウンサーの大村正樹氏を招いて「思わずうなずく話し方」僕はこうして、情報プレゼンターになった」をテーマにと、二回の講演会を開催した。お二方ともTVではお馴染みの方々であり、解り易い口調で興味深いお話を語っていただいた。参加者数は、二回で延べ約八六〇人にのぼったが、皆さんメモを取ったり質問を投げかけたりと、熱心に聴講していただいた。



## 「公開講座、

## 市民ふれあい教室」開講

#### ▼公開講座

前期・後期の二回を実施し、前期は六月九日に「これからの原子力エネルギー」福井からのエネルギー先端技術の展開・発信」と題し、①「『もんじゅ』の現状と将来の研究開発」(JAEA 敦賀本部 大平博昭氏)、②「4S 小型高速炉への取組み」(株式会社東芝 電力システム社 北島裕子氏)、③「レーザー技術の原子力エネルギー開発、産業への貢献」(JAEA 敦賀本部 大道博行氏)、④「レーザー核融合」(本学原子力技術応用工学科教授

山中龍彦氏)の各講演と、本学教員をパネラーとした市民討論会が開催された。

後期は十二月一日に「道を究める。」と題し、①「鞘の内」『神武不殺』の極意」(本学教養部講師 中野多郎右工門氏)、②「ゼロからの出発」サッカーから学んだこと」(金井学園サッカー部総監督 小阪清吉氏)の各講演が行われた。

講座への参加者は前・後期合わせて五七〇名。スポーツ・武道から先端技術まで、幅広い学びの領域に皆興味深く耳を傾けている様子であった。





# 社会

## ▼市民ふれあい教室

六月から十一月にかけて全部で二十一回の市民向け教室を実施。理工学から文学、社会学に至るまで幅広いテーマで開講した。女性限定のテーマであったり、水泳教室や見学ツアーなど趣向を凝らしたものであったりと、内容も盛り沢山であった。参加者は延べ三七三名と多くの方に「新たな学びの場」をご利用いただいた。



## TOPICS

### 学園レストランが新しくなりました



### Renewal Open

イス・テーブル・内装全てを一新!きれいで明るい学園レストランに生まれ変わりました!!メニューも先輩たちの意見を取り入れた新メニューを設定♪バリエーション豊富なメニューの中から自分だけのお気に入りを探してみて!みんな学園レストランに集まれ～!!

### 団らんスペース

団らんスペースを設置!!レストランの奥には落ち着いた雰囲気の団らんスペースを設置☆カフェのようなお洒落な空間になっています☆ここではケーキなどのスイーツも販売するので、空いた時間に友達とゆっくりしちゃって～♪



# がんばってます

## 理事長賞・学長賞

三月十五日の学位記授与式において次の学生が受賞しました。

### 理事長賞

電気電子情報工学科

佐野 允一

建設工学科

奥田 雄也

土木環境工学専攻

経営情報学科

屋敷 仁人

経営システム工学専攻

経営情報学科  
経営システム工学専攻

宮嶋 健太



屋敷 君



佐野 君



宮嶋 君



奥田 君

### 理事長特別賞

建設工学科 建築学専攻

北島 遼



北島 君

### 学長賞

電気電子工学科

齊藤 拓海

機械工学科

田島 辰樹



齊藤 君



田島 君

## 創成科学賞

「創成科学」は、通常の教室での授業や実験とは異なり、学生自身が自らの考えに基づき、それまでに修得した知識の創造的な応用によって、自分が選んだ課題を解決していく授業です。その結果、優秀な研究を行った学生に対して、その努力と成果を表彰します。今回の受賞者は次のとおりです。

### 【二十二年度後期】

#### ◎優秀賞

建設工学科 建築学専攻 三年

今井 誠貴

#### 「防災グッズの

ホームセンターでの品揃えと被災地の声との比較」

経営情報学科 二年

山田 章太

#### 「[EQ]について」

#### ◎努力賞

機械工学科 二年

畑 佳揮

#### 「空気抵抗の簡易実験」



畑 君

山田 君

今井 君



## 特別奨励金（平成22年度）

公的資格の取得、また、各種競技大会で優秀な成績を修めた学生に対し規程に基づき支給されました。

資格・成績など	奨励金額	人数
技術士（建設部門）	¥200,000	1名
技術士補	¥200,000	2名
土木学会認定 2級技術者	¥100,000	2名
2級建築士	¥100,000	2名
第2種放射線取扱主任者	¥100,000	6名
第3種電気主任技術者	¥100,000	2名
2級福祉住環境コーディネーター	¥50,000	9名
基本情報技術者	¥50,000	8名
第一種電気工事士	¥50,000	6名
日商簿記検定 2級	¥50,000	2名
消防設備士 甲種4類	¥50,000	1名
宅地建物取引主任資格	¥50,000	4名
3級福祉住環境コーディネーター	¥10,000	7名
第2種電気工事士	¥10,000	1名
CGエンジニア検定画像処理部門 2級	¥10,000	1名
CGクリエイター検定Webデザイン部門 2級	¥10,000	1名
2級土木施行管理技術検定（学科）	¥10,000	1名
危険物取扱者（乙種全類）	¥5,000	4名
CAD利用技術者 2級	¥5,000	1名
ITパスポート	¥5,000	3名
Microsoft office Access 2007	¥5,000	1名
MCAS Excel 2003	¥5,000	1名
MCAS Excel 2007	¥5,000	10名
MCAS Word 2007	¥5,000	12名
MCAS Power Point 2007	¥5,000	1名
日本漢字能力検定 2級	¥5,000	1名
ロボカップジャパンオープン2010大阪 マイクロロボットMixed Reality部門 準優勝	¥50,000	橋本・森

建設工学科 土木環境工学科 山崎 正貴  
建設工学科 建築学科 谷口 和彦  
経営情報学科 マルチメディア工学専攻 寺澤 宏基  
環境・生命未来工学科 長谷川 喬之  
宇宙通信工学科 斎藤陽一郎  
原子力技術応用工学科 赤松 岳明



斎藤 君



寺澤 君



山崎 君



赤松 君



長谷川 君



谷口 君

### 【二十二年度前期】

#### ◎優秀賞

環境生命化学科 二年 北川 翔一

「紅茶を用いた色素増感  
太陽電池の作製」

デザイン学科 二年 武長 諒亮

「竹とんぼ重量配分による  
滞空時間の変化」

#### ◎努力賞

原子力技術応用工学科 二年 清水 恒輝

「太陽電池を用いた無線光通信  
の基礎研究とその応用」



北川 君

武長 君

清水 君

## 全国大会出場回数“日本一”!! 野球を通じての人間形成、大学を通じて の人生設計で自分の未来を広げます。

硬式野球部は、本年度の新入生を合わせ部員数は総勢101人となりました。

練習は、毎日授業終了後に始まります。文武両道3月にキャンプが始まり、4月に春季リーグ戦、9月に秋季リーグ戦があります。部員は神宮大会出場に向け日々厳しい練習を励んでいます。



練習場は、昨年に完成しましたカール・マイヤー球場で行い、雨天の日や冬になりますと室内練習場で練習を行います。カール・マイヤー球場は両翼100m、センター122m、ナイター設備も整っています。これにより選手たちは、内容の濃い練習を行うことができます。カール・マイヤー球場での練習試合もたくさん組んでおり、常に実戦に近い形で練習を行っています。

室内練習場は、全面人工芝で打撃練習4ヶ所、ブルペン3ヶ所、ティーバッティング4ヶ所を同時に行うことができますので十分に練習できるスペースがあり、2階には筋力トレーニング器具も完備されています。選手たちは目標を持って練習に取り組み、全国大会を目指しています。

今年は全国大会出場を後援会の皆様に報告できるようがんばりますので、これからも熱いご支援とご声援を宜しくお願い致します。



カール・マイヤー球場





# 各クラブの主要戦績

平成二十二年度

## ◆剣道部

- ◇第52回北信越学生剣道優勝大会  
(5月16日) 優勝 富田 成慈  
3位 辻内 勇介
- ◇第58回全日本学生剣道選手権大会  
(7月3日～4日) 優秀選手賞 富田 成慈  
出場 辻内 勇介

- ◇第52回北信越学生剣道大会  
(9月12日) 団体戦2位

- ◇第58回全日本学生剣道優勝大会  
(10月31日) 団体戦出場

- ◇第48回北信越学生剣道新人大会  
(11月28日) 男子団体戦 3位  
女子団体戦 3位

- 男子個人戦 優勝 高垣紳二郎  
3位 富田 成慈  
辻内 勇介

## ◆硬式野球部

- ◇平成22年度北陸大学野球春季リーグ  
(4月10日～5月17日) 2位

- ◇平成22年度北陸大学野球秋季リーグ  
(9月11日～10月17日) 2位

- ◇第6回愛知東海北陸三連盟王座決定戦  
(10月31日～11月1日) 出場

## ◆馬術部

- ◇第45回中部学生自馬競技大会  
(6月21日～26日) 学生賞典馬場馬術競技 2位 山下 将人

- ◇全日本学生馬術大会  
(10月22日～27日) 学生賞典障害飛越競技 出場 山下 将人  
村木 唯人

## 学生賞典馬場馬術競技

- ◇第81回全日本学生馬術選手権大会  
(12月11日～12日) 出場 山下 将人  
村木 唯人

## ◆陸上競技部

- ◇第84回北信越学生陸上競技対校選手権大会  
(5月15日～16日) 円盤投 2位 錦見 友貴

- ◇第94回日本陸上競技選手権大会  
(6月3日～4日) 砲丸投 出場 奥田 雄也

- ◇第10回日本学生陸上競技個人選手権大会  
(6月17日～20日) 砲丸投 出場 奥田 雄也  
110mH 出場 伊達 仁哉

- ◇第79回天皇賜盃日本学生陸上競技  
対校選手権大会 (9月10日～12日) 砲丸投 出場 奥田 雄也

- ◇第41回北信越学生陸上競技選手権大会  
(10月15日～17日) 400m 3位 林 誠一郎  
円盤投 2位 錦見 友貴  
4×400mR 3位 宮武・山崎・小林・林

- 砲丸投 優勝 奥田 雄也

## ◆空手道部

- ◇第36回北信越学生空手道選手権大会  
(5月9日) 女子個人形 2位 中澤 知恵

- ◇日本空手道協会第53回全国空手道  
選手権大会 (6月26日～27日) 男子団体戦 相手の部 ベスト8

## ◆柔道部

- ◇全日本学生柔道優勝大会  
(6月25日～27日) 出場

- ◇北國杯北信越学生柔道体重別選手権大会  
(9月4日) 3位 津田 直樹

- ◇全日本学生柔道体重別団体優勝大会  
(10月9日～10日) 出場 関 直人

## ◆バレーボール部

- ◇第37回北陸三県大学バレーボール  
春季リーグ戦 (4月17日～25日) 1部リーグ 優勝

- ◇第41回春季北信越大学バレーボール  
選手権大会 (5月27日～30日) 1部リーグ 2位

- ◇第37回森田杯北陸三県大学バレーボール  
秋季リーグ (9月4日～23日) 1部リーグ 2位

- ◇第58回秋季北信越大学バレーボール  
選手権大会 (10月28日～31日) 1部リーグ 2位

- 優秀選手賞 寺田翔一・番作英也  
スパイク賞 古川 元氣  
サーブ賞 山田 大貴

- ベストセッター賞 南 祐太郎  
◇第63回秩父宮賜杯全日本バレーボール  
大学選手権 (11月29日～12月5日) 決勝トーナメント進出

## ◆少林寺拳法部

- ◇第39回少林寺拳法北陸学生大会  
(10月17日) 自由組演武有段の部 優勝 佐藤・森  
単独演武段外の部 2位 平林裕太郎

## ◆カヌー部

- ◇第31回北信越国民体育大会  
(6月11日～12日) 成年カナディアンシングル 2位 清水 貴大

## ◆拳闘部

- ◇第49回中部学生ボクシング春季大会  
(5月22日～30日) ライトウェルター級優勝

- バンタム級 ベスト4 丸山 和也

- ◇第31回北信越国民体育大会  
(8月20日～22日) バンタム級 2位 大西 秀明

- ◇全日本アマチュアボクシング選手権大会  
(11月17日～21日) バンタム級 ベスト8 大西 秀明

## ◆ゴルフ部

- ◇北陸マスタートーズゴルフ  
(5月20日～21日) 4位 古市 一真

- ◇中部学生ゴルフ5月定例会  
(5月27日～28日) 2位 古市 一真

- ◇第37回中部日本放送争奪マツプレー  
選手権競技 (6月8日～9日) ベスト8 古市 一真

- ◇第34回福井県アマチュアゴルフ選手権大会  
(6月26日～27日) 優勝 古市 一真

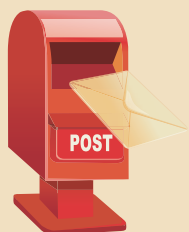
(北信越大会2位以上)



# 平成23年度 定期総会及び 地区懇談会のご案内

地区懇談会は、学生の成績・日常生活・就職などの諸問題について、  
先生と保護者が個別に話し合える絶好の機会です。  
ご都合のよい会場を選んで是非ご出席ください。

## 参 加 申 込 方 法



### ① 投函にてお申し込みの場合

「平成23年度 定期総会及び地区懇談会のご案内」を  
**別便にて**お送りいたします。  
同封の参加申込書を返信用封筒にてお送り下さい。



### ② 電話・メールにてお申し込みの場合

TEL 0776-29-7864  
E-mail [syomu-u@fukui-ut.ac.jp](mailto:syomu-u@fukui-ut.ac.jp)



### ③ ホームページ・FAX にてお申し込みの場合

本学ホームページより申込書をダウンロードの上、メール又はFAXでお送り下さい。  
ホームページアドレス  
<http://www.fukui-ut.ac.jp/>（保護者の方のサイトへ）  
FAX 0776-29-7891

申込期限：**5月9日(月)**



5/28<sup>①</sup> 福井キャンパスにて

13:00 ～

### 平成23年度後援会定期総会

#### 【議 題】

- 平成22年度収支決算報告、事業報告
- 平成23年度会計予算、事業計画
- 平成23年度 役員改選
- その他

ご都合でご出席いただけない場合は  
「委任状」(別便にて郵送します) をご提出下さい。

14:00 ～

### 地区懇談会 (福井地区)

#### 各学科教員との個人懇談会

ご子息・ご息女の学生生活、学業、部活就職活動等、どんなことでも  
ご遠慮なくご相談下さい。

6/5<sup>②</sup> ～ 26<sup>③</sup> 全国17会場にて

13:30 ～

### 地区懇談会

学業・就職・大学生活等お気軽にご相談下さい。

➡詳細は22～24ページをご覧ください。

定期総会及び地区懇談会の申込書 及び 委任状は  
別便にてお送りいたします。

# 地区懇談会 開催案内

地 区	日 程	会 場		電話番号
福 井	5月28日(土) 総会終了後14:00～	福井工業大学	福井市学園3-6-1	0776-29-7864
宮城・山形 福島・以北	6月5日(日) 開会13:30～	山形テルサ	山形市双葉町1-2-3	023-646-6677
京 都	6月5日(日) 開会13:30～	京都教育文化センター	京都市左京区聖護院川原町4-13	075-771-4221
滋 賀	6月5日(日) 開会13:30～	彦根勤労福祉会館	彦根市大東町4番28号	0749-23-4141
兵 庫	6月5日(日) 開会13:30～	姫路商工会議所	姫路市下寺町43	079-223-6551
東 京	6月5日(日) 開会13:30～	アルカディア市ヶ谷	東京都千代田区九段北4-2-25	03-3261-9921
三 重	6月12日(日) 開会13:30～	三重県教育文化会館	津市桜橋2-142	059-228-1122
和歌山	6月12日(日) 開会13:30～	和歌山商工会議所	和歌山市西汀丁36番地	074-422-1111
福知山	6月12日(日) 開会13:30～	中丹勤労者福祉会館	福知山市昭和新町105番地	0773-23-2216
新 潟	6月19日(日) 開会13:30～	新潟商工会議所中央会館	新潟市中央区上大川前通7-1243	025-290-4411
愛 知	6月19日(日) 開会13:30～	ウインクあいち	名古屋市中村区名駅4丁目4-38	052-571-6131
石 川	6月19日(日) 開会13:30～	石川県勤労者福祉文化会館	金沢市西念3丁目3番5号	076-234-2421
四 国	6月19日(日) 開会13:30～	徳島市立文化センター	徳島市徳島町城内1番地	088-653-2185
岐 阜	6月26日(日) 開会13:30～	岐阜県民ふれあい会館	岐阜市藪田南5丁目14番53号	058-277-1180
大 阪	6月26日(日) 開会13:30～	大阪会館	大阪市中央区本町4丁目1番52号	06-6261-9351
長 野	6月26日(日) 開会13:30～	JA長野県ビル	長野市大字南長野北石堂町1177-3	026-236-3600
富 山	6月26日(日) 開会13:30～	富山県教育文化会館	富山市舟橋北町7-1	076-441-8635
静 岡	6月26日(日) 開会13:30～	静岡商工会議所会館	静岡市葵区黒金町20-8	054-253-5111

※駐車場に限りがありますので、なるべく公共交通機関等でのご来場にご協力をお願いいたします。





## 滋賀

### 彦根勤労福祉会館



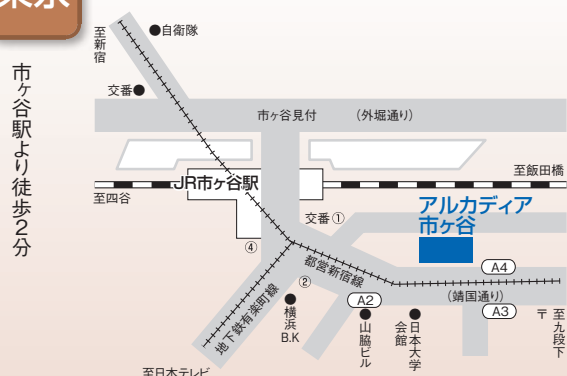
## 京都

### 京都教育文化センター



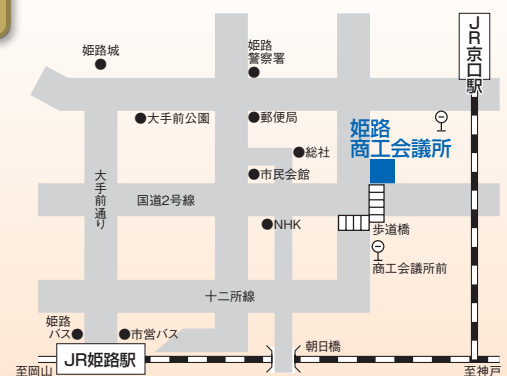
## 東京

### アルカディア市ヶ谷



## 兵庫

### 姫路商工会議所



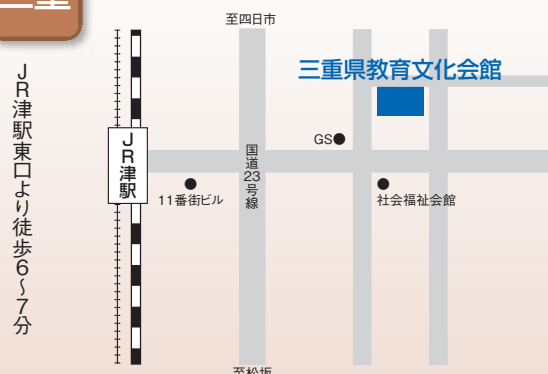
## 和歌山

### 和歌山商工会議所



## 三重

### 三重県教育文化会館



## 新潟

### 新潟商工会議所中央会館

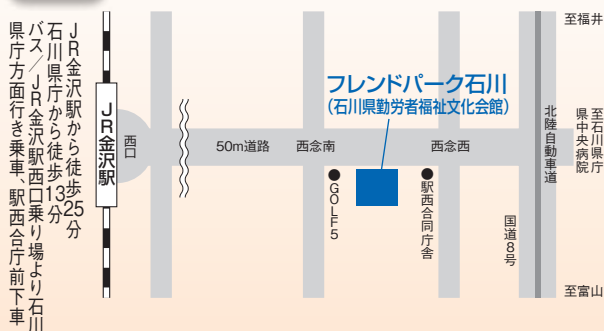


## 福知山

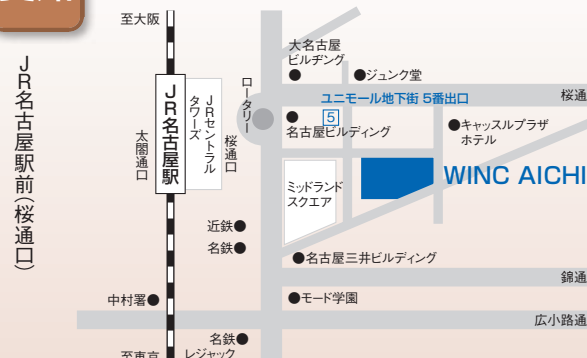
### 中丹勤労者福祉会館



## 石川 石川県勤労者福祉文化会館



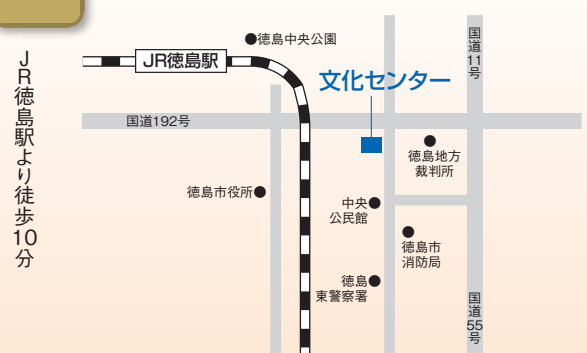
告知 ウィンクあいち



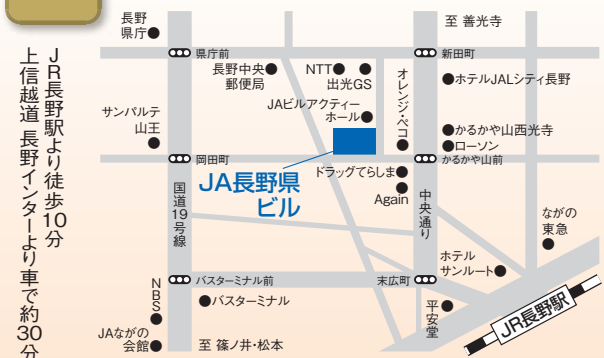
岐阜県民ふれあい会館



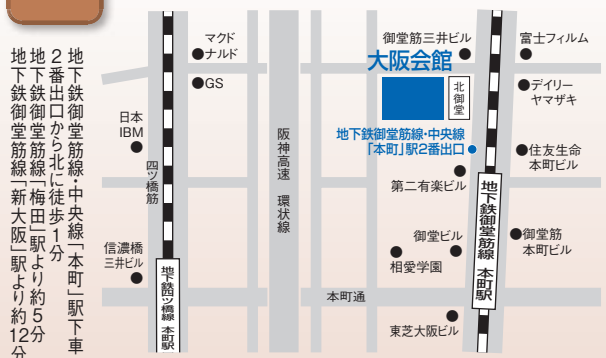
徳島市立文化センター



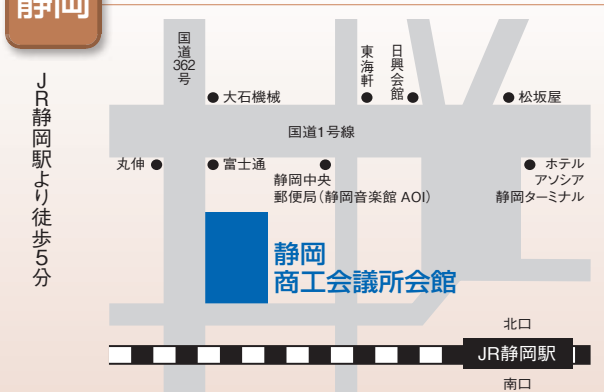
JA長野県ビル



大阪会館



静岡商工会議所会館



## 富山県教育文化会館





## 【平成23年度】学 年 暦

### 前 期

平成23年	4月1日(金)	学 年 開 始
	4月5日(火)	入 学 式
	4月6日(水)～12日(火)	全体オリエンテーション 学科別オリエンテーション 前期受講登録ガイダンス We b 受講登録講習会 「自然と科学」集中講義 健 康 診 断
	4月13日(水)	前期 授業開始(全学年)
	4月19日(火)～21日(木)	永平寺参禅研修(1年生学科別)
	5月21日(土)～22日(日)	五 月 祭
	8月7日(日)～9月25日(日)	夏 季 休 業
	9月26日(月)～28日(水)	「自然と科学」集中講義
	9月26日(月)～30日(金)	後期受講登録ガイダンス
	9月30日(金)	前 期 終 了

### 後 期

	10月1日(土)	後 期 開 始
	10月8日(土)～10日(月)	大 学 祭
	10月11日(火)	大学祭 閉会式
	10月12日(水)	代 休
	12月23日(金)	
	～平成24年1月9日(月)	冬 季 休 業
平成24年	1月10日(火)	後期 授業再開
	1月中旬	学園 成人式(式典)
	1月下旬	卒 業 研 究 発 表
	2月11日(土)～3月31日(土)	春 季 休 業
	3月15日(木)	学位記 授与式
	3月31日(土)	学 年 終 了



三月十五日の学位記授与式当日、卒業記念品として「スノースロワー」一台が贈られた。



平成22年度卒業生

寄 贈



# すべてを学生のために

最先端の設備を備え、最先端工学を学ぶステージ。  
それぞれの能力・適性・興味に応じて  
一人ひとりの人生の可能性を限りなく拡げます。



福井工業大学

Fukui University of Technology